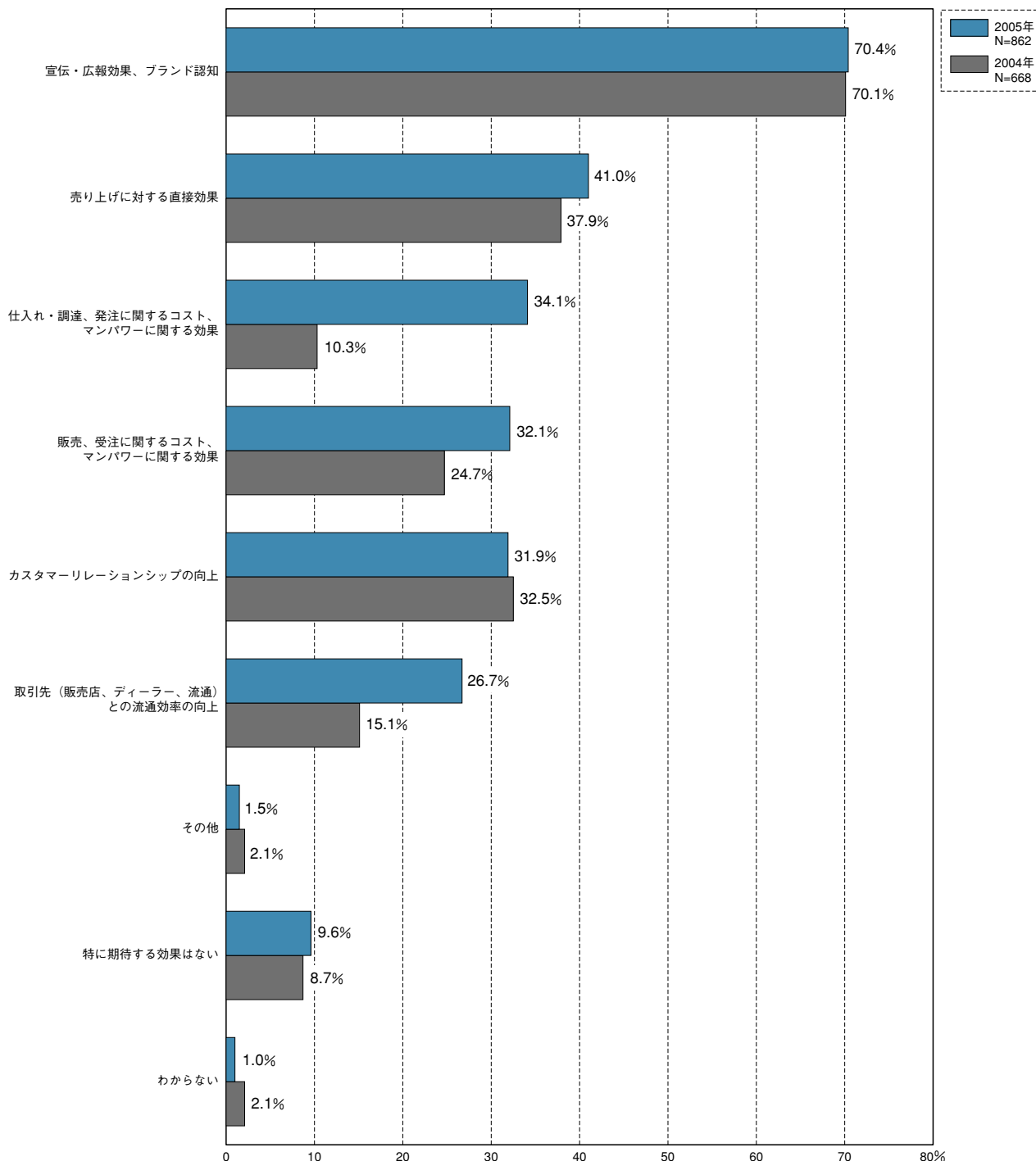


期待効果と課題

マンパワーに関する効果への期待が増加

資料3-6-31 ウェブサイトに期待する効果 (2004年-2005年) (複数回答)



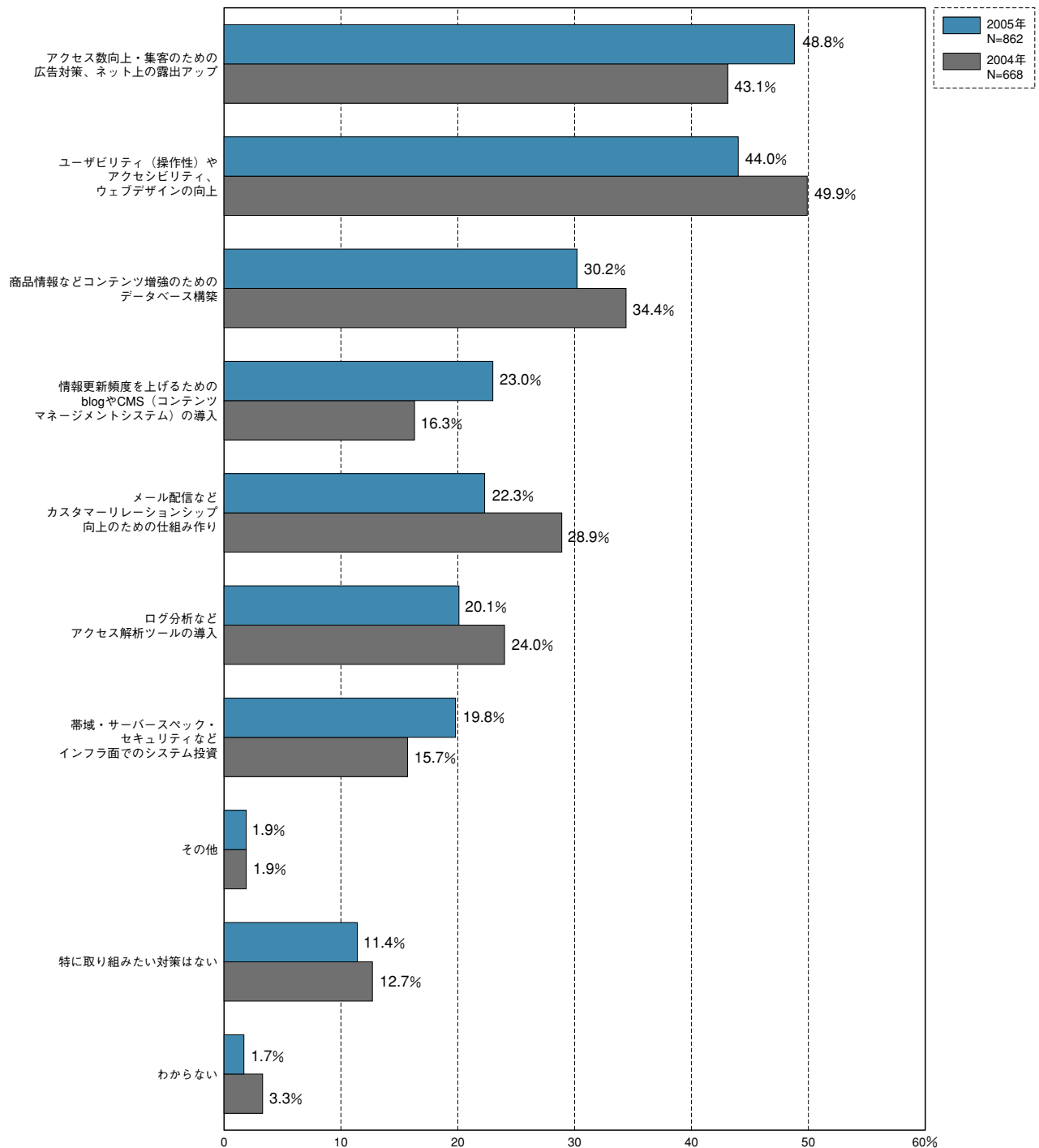
ウェブサイトに期待する効果を昨年と比較してみると、今年は全体的に期待する内容への比率が高い。「宣伝、広報効果、ブランド認知」については昨年と同様、最も期待している項目である。またECへの取り組みが増加していることから「売り上げに対する直接効果」や「仕入れ・調達、発注に関するコスト、マンパワーに関する効果」への期待も高い。

©Access Media/
impress,2005

期待効果と課題

ブログやCMS導入などの比率が増加

資料3-6-32 費用対効果を期待して今後取り組みたいウェブサイトのための技術やサービス（2004年-2005年）（複数回答）



昨年同様、使いやすさや操作性、デザインなどの向上は最も重視される項目ではあるが、今年は新しくインターネット利用者に認識され始めた「blog」や、顧客サービス向上のための「CMS」導入などの比率が増加。また、さらなるセキュリティ被害対策として、インフラ面での設備投資も前年より増加し、期待されていることがわかる。

©Access Media/
impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp